

いんすいしげん

飲水思源

町長 松岡市郎

宝物の正体は「人面石」!?

今年1月号のこの欄で旭川市民からのお手紙のことを書いた。「忠別川の河川敷に何とも不思議な石がある。この正体は一体何だろうか?」と旭川市内にお住いの後山信一氏からいただいたものである。昨年、降雪時期のお手紙だったため、雪解け後に現地案内してもらって調査することにした。

噴火によって出来、それが忠別川を流れてたどり着いたものでは…」ということのようである。

さて、ゴールデンウィークが開けて、本人にご案内いただいた。不思議な石は東6号忠別川の河川敷の一角にあった。重さは30キログラムから40キログラム程度であっただろうか。思ったより小さい。石の中には人面の彫刻のように丸い異物のような紋様のようなものが入っている。異物とは果たして化石なのか、違うとすれば一体何か?興味津々である。

旭岳の噴火は一体いつだろうか。インターネットで検索してみると、約3万年前の大噴火以降はないようだが、200年ほど前にも水蒸気爆発が起きていたのではないかとはいわれている。旭岳は活火山で、地震観測も行われている。旭岳噴火に備えた防災計画を策定する必要があるといわれる今、一体何年前に噴火したのか、その一端が明らかできれば参考になるのでは、と素人考えが浮かぶ。

あさひかわジオパークの会の中谷良弘事務局長に立ち会ってもらった。中谷氏が数回これを見渡して出した結論は、「大雪山が出来た以降、つまり200万年前以降、熱いマグマが何らかの形で冷えた安山岩に入り込み、これが冷えて固まってできたもの」「旭岳

よくよくこの石を眺めると、楽しそうな人の顔に見えてくる。中谷氏は「人面石」と命名し、発見者の後山氏は「地球が届けてくれた贈り物」と表現された。永い歳月を経て発見された石は何を語っているのだろうか。いずれにしても何かを私たちに伝えてくれるのだと考えている。当分の間、道の駅などで展示するつもりだ。多くの人々に旭岳爆発時の自然現象の産物として鑑賞していただきたい。

火花(一般書)

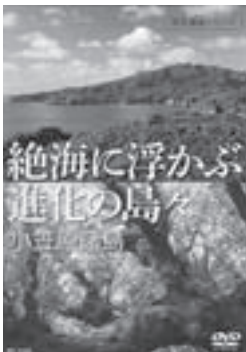
又吉直樹:著 文芸春秋:刊



売れない芸人の徳永は、熱海の花火大会で、天才肌で人間味が豊かな先輩芸人である神谷と電撃的に出会った。徳永は弟子入りを申し出、神谷は「俺の伝記を書くこと」を条件に受け入れた。神谷は、徳永に笑いの哲学を伝授しようと吉祥寺の街を歩き回り、さまざまな人間と触れ合ったが、2人の歩む道はやがて異なっていく。お笑い芸人、又吉直樹が初めて書いた本格小説。

絶海に浮かぶ進化の島々小笠原諸島(DVD)

CNインターボイス:制作



小笠原諸島は2011(平成23)年、日本で4番目の世界遺産に登録されました。この島々は一度も周りの大陸と地続きにならなかったため、他に類を見ない特徴的な生態系が育まれてきました。その自然、そこに生息・生育する動物の生態を最新の研究成果を踏まえ、科学的な視点で解説しています。小笠原諸島の貴重な自然を守る人々のさまざまな取り組みも紹介しています。(33分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245



★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

奇人・変人・大天才 紀元前から19世紀(児童書)

マイク・ゴールドスミス:著 偕成社:刊



車、電話、歯磨き粉一。私たちの周りにはたくさんの科学が溢れています。今では当たり前と考えられている科学ですが、一番初めは人類の歴史を変えるほどの大発見でした。そんな大発見をした天才科学者たちは、実はとんでもない変わり者だったようです。人類史上初の科学者・アリストテレス、ガリレオ、ニュートン、ファラデーの4人の驚きの人生をコミック風にまとめた読み物。